

| | |
|---------------|----|
| 問題・解答 用紙番号 | 43 |
|---------------|----|

の解答用紙に解答しなさい。

数 学 ②

〈受験学部・学科〉

3科目型 受験者 **3科目型と2科目型の併願受験者**

法学部, 国際学部, 経済学部, 経営学部, 現代社会学部, 理工学部, 薬学部,
農学部【理系型・文系型】

2科目型 受験者

理工学部(住環境デザイン学科【理系型】・建築学科・都市環境工学科・機械工学科・電気電子情報工学科)

問題は100点満点で作成しています。

I 次の問1～問3の空欄 (ア) ～ (ヌ) に当てはまる整数を0～9から1つ選び, 該当する解答欄にマークせよ。ただし, 分数は既約分数で表せ。また, 根号を含む形で解答する場合は, 根号の中に現れる自然数が最小となる形で答えること。例えば, $4\sqrt{2}$ と答えるところを $2\sqrt{8}$ のように解答しないこと。(32点)

問1. i を虚数単位とする。 α を実部が2, 虚部が3の複素数とすると,

$$\alpha^2 = - \boxed{\text{ア}} + \boxed{\text{イ}} \boxed{\text{ウ}} i, \quad \frac{1}{\alpha} = \frac{\boxed{\text{エ}}}{\boxed{\text{オ}} \boxed{\text{カ}}} - \frac{\boxed{\text{キ}}}{\boxed{\text{オ}} \boxed{\text{カ}}} i$$

である。

問2. 三角形 ABC が

$$AB = 3, AC = 2, \sin \angle A = \frac{\sqrt{35}}{6}$$

を満たすとき、三角形 ABC の面積は $\frac{\sqrt{\boxed{(ク)} \boxed{(ケ)}}}{\boxed{(コ)}}$ である。さらに、 $\angle A$ は鈍角である

とすると、

$$BC = \sqrt{\boxed{(サ)} \boxed{(シ)}}, \sin \angle B = \frac{\sqrt{\boxed{(ス)} \boxed{(セ)}}}{\boxed{(ソ)}}$$

である。

問3. 白玉 3 個と黒玉 2 個が入った袋 A と、空の袋 B がある。これらの袋に対して、

袋 A から同時に 2 個の玉を取り出して袋 B に入れる (★)

という操作を考える。

(1) 操作 (★) を行い、袋 B の中に黒玉が 2 個入っている確率は $\frac{\boxed{(タ)}}{\boxed{(チ)} \boxed{(ツ)}}$ であり、

袋 B の中に黒玉がちょうど 1 個入っている確率は $\frac{\boxed{(テ)}}{\boxed{(ト)}}$ である。

(2) 操作 (★) を行い、袋 A の中の 1 個の玉と袋 B の中の 1 個の玉の交換を行う。このと

き、袋 B の中に黒玉が入っている確率は $\frac{\boxed{(ナ)}}{\boxed{(ニ)} \boxed{(ヌ)}}$ である。

Ⅱ 次の問1, 問2の空欄 ~ に当てはまる整数を0~9から1つ選び, 該当する解答欄にマークせよ。ただし, 分数は既約分数で表せ。(18点)

x についての3次関数

$$f(x) = x^3 + 2x^2 - 3x$$

を考える。座標平面において, $y = f(x)$ のグラフの接線で原点 O を通るものを, 傾きが小さい順に l_1, l_2 とする。

問1. l_1 の傾きは $-\text{$, l_2 の傾きは $-\text{$ である。

問2. $y = f(x)$ のグラフと l_1 が囲む図形の面積を S_1 , $y = f(x)$ のグラフと l_2 が囲む図形の面積を S_2 とすると,

$$S_1 = \frac{\text{$$
, $S_2 = \frac{\text{$

である。

Ⅲ 次の問1～問3の空欄 (ア) ～ (ス) に当てはまる整数を0～9から1つ選び、該当する解答欄にマークせよ。(25点)

自然数 $n = 1, 2, 3, \dots$ に対して、条件

$$a_1 = 1, a_{n+1} = 3a_n - 4n$$

を満たす数列 $\{a_n\}$ を考える。数列 $\{b_n\}$ を $b_n = a_{n+1} - a_n$ により定める。

問1. 数列 $\{b_n\}$ は

$$b_1 = - \text{(ア)}, b_{n+1} = \text{(イ)} b_n - \text{(ウ)}$$

を満たす。

問2. 数列 $\{b_n - \text{(エ)}\}$ は、初項 $-\text{(オ)}$ 、公比 (カ) の等比数列である。よって、

$\{b_n\}$ の一般項は

$$b_n = - \text{(キ)} \cdot \text{(ク)}^{n-1} + \text{(ケ)}$$

である。

問3. 問2より、 $\{a_n\}$ の一般項は

$$a_n = - \text{(コ)} \cdot \text{(サ)}^{n-1} + \text{(シ)} n + \text{(ス)}$$

である。

IV 次の問1～問3の空欄 (ア) ～ (ヌ) に当てはまる整数を0～9から1つ選び、該当する解答欄にマークせよ。ただし、分数は既約分数で表せ。また、根号を含む形で解答する場合は、根号の中に現れる自然数が最小となる形で答えること。例えば、 $4\sqrt{2}$ と答えるところを $2\sqrt{8}$ のように解答しないこと。(25点)

実数 α, β に対して、O を原点とする座標平面上の2点

$$A(\cos \alpha, \sin \alpha), B(\cos \beta, \sin \beta)$$

を考える。2点 A, B は異なると仮定し、これらの点を通る直線を l とする。また、線分 AB の中点 C の座標は $(\frac{1}{8}, \frac{1}{4})$ であるとする。

問1. 直線 l の傾きは $-\frac{\text{(ア)}}{\text{(イ)}}$ である。

問2. $\cos \alpha + \cos \beta = \frac{\text{(ウ)}}{\text{(エ)}}$, $\sin \alpha + \sin \beta = \frac{\text{(オ)}}{\text{(カ)}}$ である。これより、

$$\cos(\alpha - \beta) = -\frac{\text{(キ)} \text{(ク)}}{\text{(ケ)} \text{(コ)}}, AB = \frac{\sqrt{\text{(サ)} \text{(シ)}}}{\text{(ス)}}$$

となる。

問3. 点 A の x 座標が点 C の x 座標より大きいとき、

$$\overrightarrow{CA} = \left(\frac{\sqrt{\text{(セ)} \text{(ソ)} \text{(タ)}}}{\text{(チ)} \text{(ツ)}}, -\frac{\sqrt{\text{(テ)} \text{(ト)} \text{(ナ)}}}{\text{(ニ)} \text{(ヌ)}} \right)$$

である。

計 算 用 紙

計 算 用 紙